



青柳園だより

2024年
5月号
文京区立青柳幼稚園

「やってみよう」を大切に

園長 米澤 千秋

子どもたちが作ったこいのぼりが元気に泳いでいます。庭には、ダンゴムシやテントウムシが顔を出し、年長ゆり組が、年少もも組を優しくリードしながら、一緒に虫探しを楽しんでいます。

先日、年長児がペーパー芯などを使って“自分人形”を作りました。紙を丸める、包む、ずれないように芯に紙を巻く、ハサミで靴の形を切る…などなど、いくつもの工程があります。教師は手順の絵表示を示しながら、作り方を伝えました。「硬くてなかなか小さく丸められないなあ」「ようふくがずれちゃった…」「つぎはどうするのか？」などと、時折うまくいかず、困る姿がありました。教師は、絵表示を自分で見て確認できるよう促したり、「ここを押さえながらやってみよう」とコツを伝えたり、「そうそう、いい感じ！もう少しで完成だね」と寄り添い励ましたりして支えます。

二日かけて完成させると、「一緒にお外に行ってきます！」と、自分で作った人形を大事そうに抱え、外に遊びに行く姿が見られました。友達と一緒に“自分人形”で会話をしたり、一緒に虫探しをしたり、砂場で人形用の滑り台を作ったりして遊び、ちょっぴり苦心しながらも、自分で完成させた人形に愛着をもっているようでした。



遊びや生活の中では、自分の思い通りに物事が進まなかったり、自分にとっては少し難しいと感じることに出会ったりします。そのような場面で必要なことは、幼児の「やってみよう」という意欲を支え、引き出すことです。諦めずに一つ一つ乗り越える経験が次への意欲や自信につながります。

今年度は、『作ることを楽しむ幼児を育てる』をテーマに園内研究に取り組んでまいります。作って遊ぶ場面に着目し、幼児の「やってみよう」を引き出す教師の援助や環境構成を探っていきます。

幼児期に重要な主体的な学びを豊かにしていく上でも、幼児のやってみようとする意欲を育てることはとても大切です。今後も園だよりなどで、エピソードやご家庭で作って遊ぶことを楽しめる教材などをお伝えしていきます。保護者の皆様もぜひ、お子さんの「やってみよう」の芽を見つけてみてください。そして、共に大切に育ててまいりましょう。